

2024 年度

一般選抜入学試験 問題集

国語総合



共栄大学

教育学部 / 国際経営学部

I 次の文章を読み、設問に答えよ。

論理的な文章を書くために、事実と意見を明確に区別しなければならないという主張をしばしば耳にする。

だが、事実と意見を区別することは、実はそれほど簡単なことではない。例えば、次の二つの文章を見てみよう。

- a Kは大学教授だ。
- b Kは優秀な大学教授だ。

事実と意見を区別せよと主張する人は、おそらくaが事実で、bが意見だと言っただろう。確かに、「K」が「大学教授」かどうかは、事実として検証可能である。これは、「K」が「優秀」かどうかのように、個人の ア で判断が分かれるものとは明らかに違うもののような気がする。が、ここで疑問なのは、「Kは大学教授だ」が事実であるとしても、それを発言する人は、なぜそんなことをわざわざ言おうとしたのかということだ。

つまり、事実と意見の区別を主張する人は、ある話題の表現がどのように選択されているかばかりを見ていて、そもそもその話題の選択がなぜなされたのかについてはまるで考えていない。例えば、Kが結婚適齢期にある、独身の大学教授だとしよう。ある人がKについて「Kは次男だ」と発言した。もちろん、Kが次男であるかどうかは、事実として明確に検証可能である。だが、「次男」という事実を話題として選択し、聞き手に伝えようとするその行為において、「Kは次男だ」は十分に意見としての性格をもっている。

このあたりの事情は、テリー・イーグルトンが、書物の中で的確に指摘している。

……なるほど、「この聖堂は一六二二年に建てられた」という事実の確認と、「この聖堂は、バロック建築の壮大なる典型である」といった価値判断の表明には、明確な差異がある。だが、こんな場面を想定していただきたい。英国を訪れた外国人の女性に名所を案内しながら、何年に建てられた云々という話を私がその女性にしたとしよう。ところが彼女は猜疑の色を目に浮べている。彼女は問う。なぜあなたは、こういった建物が建てられた年代ばかり私に話したがるのですか？なぜ起源にはかりこだわるのですか？そして彼女はこう続けたとしよう。私の住んでいる国では、その種のことは一切記録されません。そのかわり私たちは、北西を向いているか、南東を向いているかで建物を分類しています。このとき明らかになるのは、いま私が客観的な陳述のつも

りて口にした言葉の背後にある、意識されざる価値判断の体系である。こういった価値判断は、「この聖堂はバロック建築の壮大なる典型である」といった判断と必ずしも同じではないが、にもかかわらず価値判断の一種である。つまりいかなる客観的な陳述も価値判断であることから逃れることはできないのだ。事実の陳述は、結局、事実ではなく陳述である。事実の陳述もひと皮むけば、そこには数多くの価値判断がひそんでいる。

蛇足であろうが少し補足する。「この聖堂は一六二二年に建てられた」という文章は、確かに事実として検証可能である。が、こういうことをわざわざ言おうとすること自体が、すでに歴史的価値観というものにとらわれているのである。もしわれわれが、あることがいつ起こったかということに何の イ ももたなかったとしたら、それが成立した年代を情報として提示しようとはつゆ思わぬであろうからだ。

さらに、次の例を見てみよう。

- a Kは三〇歳だが、大学教授だ。
- b Kは三〇歳で、大学教授だ。

aもbも、事実として検証可能である。が、同じデータが、一方は逆接の関係で連結し、他方は順接の関係で連結して、どうして両方とも事実であると言えるのか。要するに、この二つは、事実として検証可能なことを述べていながら、連結という作用によって意見となっているのである。また、次のような例も、なかなか面倒だ。

- a 冷蔵庫の中にビールがあった。
- b 冷蔵庫の中にビールがなかった。

この場合も、a、bともに、事実として検証できる。冷蔵庫を覗けば、確かにビールがあり、ビールがない。だが、aの場合は、こちらの考えとは無関係にビールが存在するのに対し、bは、こちらが冷蔵庫の中にビールがあることを期待ないし予想しなければ、そもそも「ビールがない」という「事実」そのものが発生しない。つまり「ない」ということは検証可能でありながら、それは事実ではなく語り手の観念にすぎない。そこに「ない」ものは、語り手が何を思い浮かべるかによって、無数に発生する。ビールだけでなく、ジュースも、牛乳も、バターも、チーズも、果物も、何でも「ない」ものにするができる。こういうものを、事実と呼べるだろうか。

また、「彼は振り返らずに歩いて行った」という文でも、彼が「振り返らなかった」ということは、(他の証言などによって) 検証が可能である。だが、実際の事実は、彼はただ「歩いて行った」のであり、「振り返らずに」は語り手の期待あるいは予想が生み出した擬似事実すぎない。だとすれば、これはやはり語り手の意見なのだ。

最後に、ややふざけた例もあげておこう。

- a 道路が渋滞した。(一般道の場合)
- b 道路が渋滞した。(首都高の場合)

これは前の例とは違い、どちらも意見であるように思われる。しかし、一般道の場合とはかく、首都高では「渋滞」について、「時速二〇キロ以下の車の列が一五キロ以上になり、それが三〇分以上続く」という明確な規約的定義をもっている。だから、何らかの機械によって「渋滞」を正確に感知し、その表示を出すのであれば、bの「道路が渋滞した」は、事実を表した文であるとも言えることができる。

このように、事実と意見を区別することは簡単ではなく、というより、それはほとんど不可能である。私は、国語教育の場で、大雑把な分け方であることを承知のうえで、事実と意見をさせるとは、それなりに意義のあることだと思っている。小学生など、例えば「洞窟には、ゾウやシマウマの絵と並んで、不思議なことにカバの絵が描かれていました」という文を読んで、「不思議なことに」という書き手の感想までも事実として受け入れてしまうことがよくある。だから、教育上必要な暫定的知識として、事実と意見の区別を教えることは必ずしも間違いではない。

ただし、これは教育の、それも初等あるいは中等の場合においてのみ許されることであって、それを離れて事実と意見が区別できると考えることはやはり正しくない。すでに見たように、事実はいくらかでも意見として機能する。われわれは事実を口にするときでも、それをわれわれの意見として、何らかの意味で聞き手を説得しようとしているのである。

(香西秀信『論より詭弁』による)

1 空欄 ア に入るものとして最も適当なものを、2 の後に示す1～5のうちより一つ選べ。

- 2 空欄 イ に入るものとして最も適当なものを、次の1～5のうちより一つ選べ。
- 1 意義
- 2 問題
- 3 主観
- 4 秘密
- 5 関心

3 傍線部 A「事実の陳述は、結局、事実ではなく陳述である」とはどのような意味であるか。次の1～5のうちより最も適当なものを一つ選べ。

- 1 事実を述べていくと、最後にはどうしても事実でないことまで述べるようになってしまう。
- 2 客観的な事実を述べることも大切であるが、最終的には主観的な事実を述べるのが肝要である。
- 3 事実のみを述べたつもりでも、必ずそこには主観的な価値判断が加わっている。
- 4 事実を述べる場合には、いかなる場合においても客観的な態度を堅持しなければならない。
- 5 述べている本人が事実だと思いついていっているものの中には、事実ではない架空のことも紛れてしまいがちになる。

4 以下に示すものは、傍線部 B「逆接の関係で連結」した二つの表現とその解説文である。この解説文に続くものとして最も適当なものを、1～4のうちより一つ選べ。

- a B君の論文は、独創的だが、論証に難点がある。
 - b B君の論文は、論証に難はあるが、独創的である。
- どちらの評価も、「事実」の伝達としては、与えている情報はまったく同じである。しかし、聞き手に与える印象はまるで異なる。

- 1 aは肯定的な印象を与え、bは肯定的な印象を与える。これは、逆説の「が」の後にある情報が強調され、その前にある情報の価値を弱めてしまうからである。
- 2 aは否定的な印象を与え、bは肯定的な印象を与える。これは、逆説の「が」の前にある情報が強調され、その後ろにある情報の価値を弱めてしまうからである。
- 3 aは肯定的な印象を与え、bは否定的な印象を与える。これは、逆説の「が」の後にある情報が強調され、その前にある情報の価値を弱めてしまうからである。
- 4 aは肯定的な印象を与え、bは否定的な印象を与える。これは、逆説の「が」の前にある情報が強調され、その後ろにある情報の価値を弱めてしまうからである。

5

以下に示すものも、傍線部B「逆説の関係で連結」した表現である。この解説として最も適当なものを、1～5のうちより一つ選べ。

路傍の淫祠(邪神を祀った社)に祈願を籠め欠けたお地蔵様の頭に涎掛けをかけてあげる人たちは娘を若者に売るかも知れぬ。義賊になるかも知れぬ。無尺や富籤の僥倖(偶然の幸運)のみを夢見ているかも知れぬ。しかし彼らは他人の私行を新聞に投書して復讐を企てたり、正義人道を名として金をゆすったり迫害したりするような文明の武器の使用法を知らない。
(永井荷風「日和下駄」より)

6

以下に示すものは、自家用車リースのパンフレット案である。この三つを、「最も中立的であり客観的にかつ良的であると言えるもの」↓客が不安を感じて契約に二の足を踏むもの↓実際の自家用車リースのパンフレットとして採用されたもの」という順序で並び替えたならどのような配列になるか。1～6のうちより最も適当なものを一つ選べ。

* 「自家用車リース」とは一定期間の料金を定めて客に自家用車を貸し出すこと。期間終了後は返却することになるが、その時点でリースされた車は価値が下がることになる。その価値を金額としてあらわしたものを査定額という。

A リース期間終了時に実際の査定額が残額を上回った場合にはその差額分をお客様に還元します。例えば残額を三〇万円と設定したときリース終了時の査定額が四〇万円であれば、差額の一〇万円はお客様にお支払いします。(逆に二八万円の査定の場合は、二万円をお客様にご負担していただきます)。

B リース期間終了時に実際の査定額が残額を下回った場合にはその差額分をお客様にご負担していただきます。例えば残額を三〇万円と設定したときリース終了時の査定額が二〇万円であれば、差額の一〇万円はお客様より頂戴します。(逆に三三万円の査定の場合は、二万円をお客様にお支払いします)。

7

C リース期間終了時に実際の査定額が残額を下回った場合にはその差額分をお客様にご負担していただきます。例えば残額を三〇万円と設定したときリース終了時の査定額が二〇万円であれば、差額の一〇万円はお客様より頂戴します。(逆に四〇万円の査定の場合は、一〇万円をお客様にお支払いします)。

- 1 A | B | C
- 2 A | C | B
- 3 B | A | C
- 4 B | C | A
- 5 C | A | B
- 6 C | B | A

以下に示す二つの表現はA子の性格についての事実を語ったものであるとする。そしてそれに続くものはこの表現についての解説文である。この解説文に続くものとして最も適当なものを、1～5のうちより一つ選べ。

a A子は物静かだ。
b A子は陰気くさい。
現実のモノ・コトと言葉が、本来的に1対1で対応しているでない以上、それを表現するのに、自分にとって最も都合のいい言葉を選択して使用することもできる。

- 1 つまり、われわれは、表現しようとする対象を、ある程度は自由に「名づけ」ることができるといえる。
- 2 つまり、われわれは、表現しようとする対象を、否定的な評価を下しがるという思考癖がある。
- 3 つまり、われわれは、表現しようとする対象を、肯定的な評価を下しがちになるといえる思考癖がある。
- 4 つまり、われわれは、表現しようとする対象を、画一的に「名づけ」なければならなくなってしまう。
- 5 つまり、われわれは、表現しようとする対象を、肯定的かつ画一的に「名づけ」る必然性がある。

8

本文の趣旨に合うものとして次の1～5のうち最も適当なものを一つ選べ。

- 1 国語教育の場で、事実と意見を区別させようとすることは、全く意味のないことである。
- 2 事実として検証できるか否かということが、事実と意見の境目となることである。
- 3 「Kは三〇歳で、大学教授だ。」というように、事実として断定できるような表現ができるようにすることが、これからの国語教育の使命である。
- 4 ある事実がどのように選択されたかばかりでなく、なぜ選択されたかまでを考えていく必要がある。
- 5 この本のタイトルである「詭弁」という文句は、「虚偽」と同義になるので惑わされないようにすべきである。

- 7 -

「大問Ⅱ」は著作権の関係でホームページには公開しておりません。

「大問Ⅱ」は著作権の関係でホームページには公開しておりません。

「大問Ⅱ」は著作権の関係でホームページには公開しておりません。

「大問Ⅱ」は著作権の関係でホームページには公開しておりません。

Ⅲ 次の俳句についての設問に答えよ。

18

以下は、四角枠内の俳句について学生が教授に質問をしている会話である。これを読み、①②③に入る語句の組み合わせとして最も適当なものを、後の1～4のうちより一つ選べ。

梅咲いて庭中に青鯨が来ている 金子兜太

学生「梅」は①の季語ですか。」

教授「そうですね。この句は梅が咲いて②庭の印象を詠んだ句なのですよ。」

学生「青鯨が来ている」は③なのですね。」

- | | | | |
|---|-----|---------------|------|
| 1 | ① 春 | ② 生命の躍動感にあふれた | ③ 隠喩 |
| 2 | ① 冬 | ② どころなく寂しさが漂う | ③ 隠喩 |
| 3 | ① 春 | ② どころなく寂しさが漂う | ③ 直喩 |
| 4 | ① 冬 | ② 生命の躍動感にあふれた | ③ 直喩 |

【国語総合】

I		
問題	解答	配点
1	③	4
2	⑤	4
3	③	4
4	①	4
5	④	4
6	⑥	4
7	①	5
8	④	5

II		
問題	解答	配点
著作権の関係で ホームページには 公開していません。		

III		
問題	解答	配点
18	①	3

IV		
問題	解答	配点
19	③	5
20	④	5

IV		
問題	解答	配点
21	①	4
22	②	4
23	③	5



共 栄 大 学

学務部 入試課

〒344-0051 埼玉県春日部市内牧 4158

電 話 048-755-2490 (直通)